

令和、
なのに
昭和。

からむし織と
カスミソウの里

昭和村

SHOWA Vill

ゆったりとした季節の巡りに
寄り添いながら
軽やかに朗らかに
毎日を暮らす人々は
小さくてもあたたかな
温もりに包まれる幸せを
そっとあなたに教えてくれます。

福島県 昭和村

目次

豊かな自然	04
芋（からむし）	06
道の駅からむし織の里しょうわ	08
特産品「カスミソウ」	10
交流・観光拠点施設「喰丸小」	12
お土産	14
飲食店情報	18
宿泊施設	20
昭和村地図	22

昔と今が織り成す タイムトリップ

昭和2年、二つの村が合併し、昭和村は誕生しました。
周りを山々に囲まれた昭和村は、人口1,300人に満たない小さな村です。

昭和村の人々は、自然の恵みに感謝し、厳しさも享受しながら、独自の歴史と文化を育み、日々丁寧に暮らしています。

吹き抜けるそよ風と共に揺れる
「カスミソウ」
手で績んだ糸を丹念に織る

「からむし織」
季節の色にキラキラと輝く湿原と溪谷。

先人から大事に大事に受け継がれてきた宝物たちは、日常の風景に溶け込み、美しい里山となって来る人を迎えます。

もし、あなたが昭和村を訪れたのなら、普段の生活から離れ、里山の風景に没頭してください。
都会では決して味わえぬ異日常が、あなたを包み心と体をきつと癒してくれるでしょう。

令和の時代に昭和村。変わらぬ風景とともに、昭和村はいつでも皆さまをお待ちしております。

令和、なのに昭和。

昔にタイムトリップしたような空間や現代と昔を融合させた新たな空間
令和の時代に残さなければならぬ
昭和の息吹が感じられる



からむしとは？

「からむし」は苧麻とも呼ばれるイラクサ科の多年草で、上布用の原材料として昭和村で栽培が続けられています。畑で栽培されたからむしの茎から取り出された繊維は、昭和村のからむし織のほか、重要無形文化財越後上布・小千谷縮の原料に使われています。「からむし織」は、通気性・吸湿

性に富み、織り上げられた布は軽くしなやかで、独特のハリがもたらす涼しい着心地は一度経験すると他の織物を着ることができなと言われるほど。平成29年には、その古くから続く技術を評価され、「奥会津昭和からむし織」が国の伝統的工芸品に指定されました。

畑を耕し
草を育み
糸を績んで
織りあげる



からむしの葉



結束されたからむし

からむし引きを行い、陰干しした繊維。出荷規格は一束100匁(375グラム)

てえらな*心で丁寧に。からむし織ができるまで。

*たいら（平ら）の意、おだやかで安定している様子を表した昭和村の方言。

5月

からむし焼き

からむしの発芽をそろえ、成長が均一になるようにするため、二十四節気の小満の日を目安にからむし焼きを行います。病虫害の発生を抑え焼いた灰を肥料にする目的もあります。



7月
8月

刈り取り

からむしの収穫は7月の土用の頃からお盆前にかけて行われます。手作業で一本ずつ刈り取り、わき芽の少ない上質な『かげ苧(そ)』とわき芽の多い『親苧(おやそ)』に選別し、葉を落とした後、きれいな清水に浸します。



からむし剥ぎ

数時間ほど清水に浸した後、ていねいに皮を剥ぎ取ります。皮の乾燥を防ぎ、青水(草の汁)を流すため再び清水に浸します。



からむし引き

苧引き盤、苧引き板、苧引き具と呼ばれる道具を使い、1枚ずつ表皮と繊維を引き分けず。取り出した繊維は、数日陰干しして乾かした後に規定の100匁に束ねます。



11月

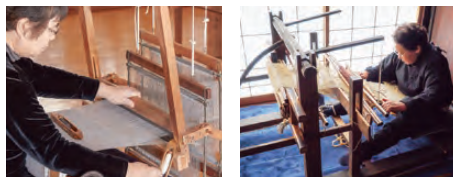
苧績み

からむし引きで取り出された繊維を糸の太さに合わせて裂き、繊維を繋ぎあわせる作業を績むと言います。非常に根気のいる作業で、帯1本分の糸を績むのに、約3ヶ月の期間を要します。



からむし織り

績んで紡がれた糸は昔ながらの地機(じばた)や高機(たかはた)にかけられ手織りされます。糸を切らないように織目の整った帯や反物を織り上げるには、熟練の技術が必要です。





世界の苧麻園

世界中のからむしを見ることができる世界の苧麻園



からむし工芸博物館

開館時間／午前9:00～午後5:00
※入館は午後4時30分まで
定休日／不定休
有料

からむし工芸博物館では、縄文の時代から人に利用されてきた植物繊維「からむし」「麻」の栽培に関する歴史資料や生産用具を展示しています。

季節によっては、からむしに関する企画展や実演などが開催され、初めて訪れる方でも楽しめる展示となっています。

また、博物館脇には世界各国64種類のからむしが栽培されており、貴重な畑を見学することができます。



育み、紡ぐ、糸と人。



※体験生の募集はHP <http://www.vill.showa.fukushima.jp> で公開されます。

昭和三村総務課からむし振興室 ☎0241-57-2116

からむし織体験生（織姫・彦星）制度

からむし織の一連の工程と山村生活を通じて、村人との交流を深め、昭和村の生活文化を知っていただくことを目的とした制度です。約一年間の体験生修了後も定住し、からむしに携わりながら生活する方も多くいます。

からむしの歴史を学ぶ

純朴な手と心が作りだす
極上の衣



道の駅
からむし織の里
しょうわ



館内は、昭和村の特産品や手作りの逸品が集まる。

からむしを
肌で感じる

「道の駅からむし織の里しょうわ」は、体験とお土産品を取り扱う「織姫交流館」、からむしの歴史を学べる「からむし工芸博物館」、そして昭和村の郷土食を味わえる「苧麻庵」の3つの施設で構成されています。織姫交流館では、からむし製品の他、地元の野

道の駅

からむし織の里しょうわ

開館時間／午前9:00～午後5:00
定休日／不定休
※道の駅からむし織の里しょうわのfacebookで確認できます。
URL <https://www.facebook.com/karamushiori>

からむし織体験

からむしの糸でコースターづくりが体験できる。

体験時間／約20分
体験料1,000円(税別)、要予約。
☎0241-58-1655



菜や伝統工芸品、カスミソウを使用した六次化商品などさまざまな昭和村の特産品を取り扱っています。また、館内では、からむしの糸績みなどの実演も見学でき、実際にからむしを感じることができるよう施設となっています。

カスミソウ

Kasumiso

百年先も
カスミソウを作り続ける
村でありたい



カスミソウに、
農山村の暮らしに
触れて、見て、聞いてー

赤ちゃんの 吐息

地中海沿岸を原産とするカスミソウは、そよ風が育てるとも言われ夏季冷涼な気候を好んで生育します。昭和村では平成25年にカスミソウ栽培30周年を迎え、現在は夏秋期の栽培面積が日本一になりました。初夏から晩秋にかけて「満点の星」を思わせる無数のカスミソウの花は、昭和村の風物詩です。

昭和村では、カスミソウの品質



矢ノ原高原

標高700mの矢ノ原高原は、カスミソウの優良ほ場で、多くの生産者のビニールハウスが並びます。



農林水産物集出荷物貯蔵施設（雪室）

大型ダンブおよそ300台分の雪を春先に搬入し、予冷庫の空気を冷却しています。

管理も独自の工夫が見られます。本村の特別豪雪地帯という環境から、冬に積もった雪を利用し、カスミソウを出荷までの間、予冷をしています。その施設は通称「雪室」と呼ばれ、中の雪は一年中溶けることなく、カスミソウを冷やし続けます。このような環境に負荷をかけない品質管理でカスミソウの昭和村ブランドは築かれています。

手厚い 就農支援

現在、夏秋期日本一のカスミソウは本村の基幹産業でありながら、栽培農家の高齢化により担い手が不足しています。本村がカスミソウ産地として維持できるよう、新規就農者を積極的に受け入れています。近年ではインターンで来る方も多く、家族で移住する方、単身で移住する方と様々です。

新規就農者への支援として、村独自の「かすみの学校」という制度があります。かすみの学校では、最短1泊2日から実際のカスミソウ農家さんのところで仕事を体験します。参加者は、大学生から社会人まで幅広く、より本格的な就農への一助となっています。



かすみの学校研修風景

参加者は実際のカスミソウ農家のもとで研修を受けることができます。

カスミソウ

新規就農に関すること

昭昭和村 産業建設課 産業係 ☎0241-57-2117

生産団体

昭昭和村 昭昭和村 昭昭和村 ☎0241-57-3111

喰丸小

Kuimarusyo

ノスタルジックな

木造校舎が

あなたと昭和村を繋ぐ



当時使っていた教科書。表紙に時代を感じます。



大銀杏のライトアップ。初秋から落葉まで行われています。



校舎より高い大銀杏。地域で大事に保存されてきました。

築八十年の 木造校舎

昭和12年に建築された2階建ての木造校舎「旧喰丸小学校」は、平成30年4月に交流・観光拠点施設「喰丸小」として生まれ変わりました。昭和55年の廃校から、幾度の解体の危機を乗り越えて、喰丸小に思いを寄せる人々の思いと、当時の趣をそのままに、交流・観光の新たな拠点として、村

の哲学を次世代に伝え、村内外の人々を繋ぐ場所として、新たな役目を果たしていきます。
施設内には、観光関係の事務室があるほか、移住定住の相談スペースや展示・イベントの催事に使える多目的な集会室があります。



西日の差す教室風景は、フォトジェニックな空間になっています。



廊下に飾ってある掲示物は当時の小学生が作成したものです。

シンボルの 大銀杏

樹齢120年を超える大銀杏。校舎よりも早くに存在し、喰丸小を見守りながら成長しました。季節ごとに表情を変える大銀杏は、喰丸小のシンボルツリーとして村内外から愛されています。特に、銀杏の葉が色づく紅葉シーズンは圧巻で、幻想的な空間を演出しています。落葉後も、校庭を覆いつ

くした葉が、黄色い絨毯のようになり、多くの写真家が足を運んでいます。
西島秀俊主演で平成25年公開された映画「ハーメルン」は、ここ喰丸小を舞台に撮影され、木造校舎の持つ空気が魅力たっぷりに描かれています。作中では貴重な改修前の校舎を見ることが出来ます。



映画「ハーメルン」

出演：西島秀俊、倍賞千恵子ほか
監督・脚本：坪川拓史
制作・配給（株）トリクスタ
平成25年公開・132分

交流・観光拠点施設「喰丸小」

〒968-0212 大沼郡昭和村大字喰丸字宮前1374
開館時間／午前9:00～午後5:00
休館日／月曜日・火曜日
（月・火曜日が国民の祝日の場合は開館し、当該休日以降の直近の休日ではない日は閉館します。）
昭和村 産業建設課 観光交流係 ☎0241-57-2124



facebook <https://www.facebook.com/chomaanshowa/>

A large, modern interior space with a long wooden table and large windows overlooking a traditional Japanese building. The building has a green tiled roof and white walls with dark wood accents. The interior has a minimalist design with a light-colored floor and a small potted plant on the table.

A rectangular wooden tray holds a serving of cold soba noodles. The noodles are thin and light-colored, topped with a light, creamy dressing. To the left of the tray, a small white bowl contains dark soy sauce, and a small white dish holds a lemon wedge. The background is a warm, wooden surface.

昭和村の恵みを
心で味わう料理

昭和村の恵みを
心で味わう料理



訪れた地域の
“地の物”を
食べることは
旅の醍醐味です。

山々に囲まれた昭和村には、地域の魅力の詰まった食で溢れています。

あたたかな味わいの郷土食からおしゃれな軽食まで、こだわりを感ずる料理の数々は、昭和村で育まれた素材を活かし、店主が腕を振ります。

窓の外に広がる田園風景をのんびりと眺めながら舌鼓を打つ時間は、まさに至福の時間です。

気取らない味で、食べる人の笑顔を追求めた料理はどこか懐かしく、故郷に帰ったような安心感に包まれます。

来るたびに魅力が増し、一度味わったら誰かに教えたくくなるような、自分だけのお気に入りのお店を探しに昭和村へお越しください。

村の駅 味楽



さっぱり田舎ラーメンがワンコイン（500円）です。メニューはほかに、特製味楽ラーメンやピリ辛みそラーメン、からむしうどん、からむしラーメンなど。でっけー田舎おにぎりは200円



でっけー田舎おにぎりとさっぱり田舎ラーメンのお店。おにぎりのでっけさは行ってみてのお楽しみ。店内では軽食や飲み物も販売しております。場所は国道400号沿いで赤いのれんが目印。

大沼郡昭和村大字下中津川字住吉396-1

☎0241-57-2006

定休日／毎週木曜日

営業時間／午前10時～午後5時

席数10 駐車場5台

里山カフェ 星のやと

2015年11月にオープンした古民家を再生した珈琲ショップです。こだわりの珈琲のほか、放し飼いの鶏の卵からつくるプリンや地元食のじゅうねんばたもちも好評で、店内ではからむしの着物も販売しています。店内からは四季折々の周囲の景観が楽しめます。

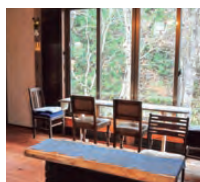
大沼郡昭和村大字下中津川字上平5254

☎080-3322-4567

定休日／水～土（臨時休業の場合がありますので、事前にお問い合わせください。）

営業時間／午前11時～午後3時

席数10 駐車場あり



cafe まつや

2014年8月に新規オープン、母屋では民宿松屋を営業する珍しいカフェです。おすすめは、店主や昭和村の名前から命名した「つよピザ」と「昭和ナポリ」、ピザはテイクアウト可、昭和村特産のじゅうねんを使った大福とシフォンケーキはお土産用に販売もしています。

大沼郡昭和村大字両原字天狗屋敷537

☎0241-57-2283

定休日／不定休

営業時間／午前11時～午後3時

夜間は予約営業

席数15 駐車場10台



オリジナルの「昭和ナポリ」は太麺でほんのりパシルが香る。

ファーマーズカフェ 大芦家



写真は矢ノ原高原そばを手打ちした「高速そば」です。メニューはほかに餅・ばんでえ餅・うどんなど。



2010年10月昭和村にカフェがオープンしました。店長は役場を早期退職した佐藤さん。「楽しみながら人生を送りたい」とカフェを始められたそうです。農作業小屋だった建物を改装して素敵なカフェにしてみました。毎朝、佐藤さんが打つ矢ノ原高原そばがお勧めです。奥さんの手作りケーキも絶品。また年に数回、アマチュアバンドのコンサートも開催しています。

大沼郡昭和村大字大芦字中組1854

☎090-7664-7354

定休日／火曜日

営業時間／午前10時～午後5時

席数17 駐車場5台

やまか食堂

創業50年以上、地域に愛されてきた店の味はどれも折り紙付き。料理の腕を振るう齋藤さんのオススメは、国産豚コース肉の「カツ丼」。甘辛オリジナルブレンドの「ソースカツ丼」と、『煮込みカツ丼』で、カラッと香ばしいカツは驚くほど柔らかでジューシー。自家製ちぎれ麺にたっぷりの季節の野菜とチャーシューがのった「味噌チャーシュー麺」は絶品の美味しさです。

大沼郡昭和村大字下中津川字中島1618

☎0241-57-2167

定休日／不定休※やまか食堂Twitterで確認できます

営業時間／午前11時～午後3時

席数15

URL:<https://twitter.com/yamaka2167>



自家製米のあつあつご飯に、シャキシャキの千切りキャベツ。主役のカツは薄めの衣が豚肉のうま味を引き立てて、女性や年配客にも人気です。



農家民宿 やすらぎの宿 とまり木

自然と共に暮らしてきた村のお母さんが運営する宿。多様な穀類や野菜等もすべて自家製。旬の山の幸を使った郷土料理作り体験がおすすめ。

大沼郡昭和村大字大芦字大向4478

☎0241-57-3110

料金／1泊2食付 7,000円～

食事は宿主との共同調理となります。

(体験費等別途)

部屋数／和室15畳×2室

収容人数／8名



民宿 松屋

母屋は築100年を超す古民家。自家製の米、野菜、旬の食材を使った郷土料理は豪華な一品です。暖かいおもてなしとアットホームな雰囲気、リピーターが絶えない旅館です。

大沼郡昭和村大字両原字天狗屋敷537

☎0241-57-2283

料金／1泊2食付 8,000円～

部屋数／和室12畳・8畳×各1室、6

畳×2室

収容人数／17名

チェックイン・アウトは相談対応可

駐車場10台

<https://www.instagram.com/minsusongwu/>



SHARE BASE 昭和村

「皆で共有できる秘密基地へ」をコンセプトにした、築150年を越える古民家再生のゲストハウス。旅や研修、制作活動の拠点、田舎暮らし体験など、複数の滞在者が自由に過ごすことができます。

大沼郡昭和村大字野尻字元町4488

☎050-3695-3106

料金／素泊まり 5,000円/人(税込)

※冬期間暖房費別途500円(貸出品等別途)

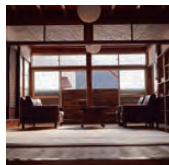
食事は、食材持込の自炊となります。

部屋数／和室8畳×3室、1棟貸切可

収容人数／15名

チェックイン・アウトは相談対応可

URL:<https://showa.sharebase.jp/>



古民家ゲストハウス とある宿

昔、神社の宮司さんが住まわれていた古民家を宿として使っています。かまどでご飯を炊いたり、宿泊の皆さまと調理して、交流を楽しむ宿です。

大沼郡昭和村大字小中津川字宮原1044

☎0241-57-3131

料金／1泊2食付(食材費込)5,500円～

食事は宿主との共同調理となります。

(体験費等別途)

部屋数／和室6畳×2室

収容人数／9名

URL:<http://www.toaruyado.com/>



昭和温泉 しらかば荘

村内唯一の温泉宿泊施設。料理は川魚や山菜、野菜を中心に、宿泊者にあわせた献立。レストランもあり、日帰り入浴が可能です。

大沼郡昭和村大字野尻字廻り戸1178

☎0241-57-2585

泉質／慢性の皮膚病・消化器病等によく効くナトリウム塩化物泉

料金／1泊2食付 8,770円～

日帰り入浴500円(9:00～20:00)

部屋数／和室12.5畳×6室、25畳×1

室、特別和室1室、洋室(ツイン)1室、

特別洋室1室 計10室

収容人数／50名

チェックイン午後3時 アウト午前10時

駐車場40台 大型バス2台

レストランしらかば

営業時間／午前11時～午後1時

席数35

定休日／不定休

URL:<http://karamushi.co.jp/shirakabasou/>



旅館 昭和館

昭和23年創業。自家製の季節野菜・米、山菜を食材にした、女将手作りの天ぷらや煮物、和え物、茶碗蒸し等の田舎料理が自慢。

大沼郡昭和村大字小中津川字宮原1047

☎0241-57-2230

料金／1泊2食付 7,700円

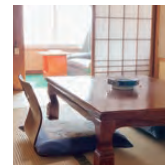
部屋数／和室8畳×2室、6畳×6室・

大広間54畳

収容人数／20名 宿泊可(応相談)

チェックイン午後3時 アウト午前10時

駐車場20台



ペンション ファミリーイン美女峠

江戸後期の建物を移築再生した宿。米や卵は自家製、囲炉裏の炭火で焼いたイワナの塩焼や、女将自慢のオリジナル料理が味わえます。

大沼郡昭和村大字野尻字東2

☎0241-57-2870

料金／1泊2食付 7,700円～

部屋数／和室6畳×2室、洋室6畳×

2室

収容人数／11名※1名から宿泊可

チェックイン午後3時 アウト午前9時30分

駐車場10台





只見町

三島町

柳津町

会津美里町

交通のご案内

電車(JR・東武線)バス利用

- 東京＝(東北新幹線・1時間20分)＝郡山(磐越西線・1時間5分[快速])＝会津若松(只見線・1時間56分)＝会津川口(会津バス・約35分)＝**昭和村**
- 東京＝(上越新幹線・1時間40分)＝浦佐[小出](只見線1時間57分)＝会津川口(会津バス・約35分)＝**昭和村**
- 浅草(東武線・会津鬼怒川線・会津線・3時間30分)＝会津田島(委託バス[冬期運休]50分)＝**昭和村**
- 浅草(東武鉄道[リパティ会津]・3時間10分)＝会津田島(委託バス[冬期運休]50分)＝**昭和村**

マイカー利用

- 東京＝(東北自動車道・160km)＝西那須野塩原I.C.(国道121号＝400号・50km)＝南会津町(国道400号・20km)＝**昭和村**
- 東京＝(東北自動車道・160km)＝西那須野塩原I.C.(国道121号＝400号・50km)＝南会津町(国道121号・12km)＝下郷町(32km)＝**昭和村**
- 東京＝(東北自動車道・190km)＝白河I.C.(国道289号・30km)＝下郷町(32km)＝**昭和村**
- 東京＝(東北自動車道・237km)＝郡山JCT(磐越自動車道・60km)＝会津坂下I.C.(国道252号線・只見町方面へ35km＝400号・20km)＝**昭和村**
- 東京＝(関越自動車道・258km)＝小出I.C.(国道252号・85km[冬期通行止])＝金山町(国道400号・20km)＝**昭和村**
- 新潟＝(磐越自動車道・71km)＝会津坂下I.C.(国道252号線・只見町方面へ35km＝400号・20km)＝**昭和村**
- 会津若松＝(国道401号・10km)＝会津美里町(国道401号・39km[冬期通行止])＝**昭和村**



雲海(昭和の森・喰丸峠)

晩秋の夜空が満点の星をたたえと、翌早朝は放射冷却現象で村が霧に包まれます。昭和の森展望台や喰丸峠に登れば見事な雲海が撮影できます。



春日神社 さいかちの木

中向春日神社境内にある村の天然記念物。樹齢300年。



正法寺 かしわの木

下中津川正法寺の境内にある村の天然記念物。樹齢350年



双体道祖神

道祖神は境を守り悪霊の侵入を防ぐ神。しかし時代が進むにつれ行路の神、旅の安全、出産、幼児加護、縁結び、夫婦円満の神としての性格をもつようになったと言われています。



慈眼山観音寺

元和2年(1616)年創建。御蔵入三十三観音の七番札所としてよく知られています。平成28年度日本遺産に認定。



戊辰の役古戦場

大芦・矢の原の戦いの跡。皮肉なことにこの戦いは、鶴ヶ城落城後のことでした。会津藩士、野村新平の墓があります。



小中津川気多神社

境内に舞台を擁し、こけら落としには檜枝岐歌舞伎が上演された小中津川地区の神社です。夏になるとお祭りが開催され、地区住民から愛される神社です。

昭和村マップ

Map

昭和村役場産業建設課 観光交流係

〒968-0212 福島県大沼郡昭和村大字喰丸字宮前1374（喰丸小内）

TEL 0241-57-2124 FAX 0241-42-7322

HP <http://www.vill.showa.fukushima.jp/category-kanko.stm>

[フェイスブック](#) <https://www.facebook.com/kuimarusho/>

[インスタグラム](#) <https://www.instagram.com/kuimarusho/>



HP



フェイスブック



インスタグラム

一般社団法人 昭和村観光協会

〒968-0212 福島県大沼郡昭和村大字喰丸字宮前1374（喰丸小内）

TEL 0241-57-3700 FAX 0241-57-3701

HP <http://showavill.info/>

[フェイスブック](#) <https://www.facebook.com/showakanko/>

[インスタグラム](#) <https://www.instagram.com/showamurakankou/>



HP



フェイスブック



インスタグラム